

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 大川 単独
2. 山城／ルート 白山系 三方崩山 : 平瀬からピストン
3. 交通手段 車

4. 行動記録

<入山日 2022年2月11日 ~ 下山日 2022年2月12日>

- 第1日 2月11日 4:30 神戸発 →8:45 道の駅「飛騨白山」→ 9:00(H600)発→16:00 東尾根 H1624 地点 キャンプ 適地テント泊 (所要時間 7時間)
- 第2日 2月12日 4:20 起床→6:00 H1624 地点→H1956 地点 →10:00 三方崩山ピーク (H2058)→H1956 地点→12:30 H1624 地点テント撤収 13:00 出発 → 東尾根→16:00 道の駅「飛騨白山」(H600) (所要時間 10時間) 帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由
2日目の行動が計画より早めに進んだため、1日早く下山した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・今回はほぼ無雪期の登山道に沿ったルート取りとした。
- ・同ルートの入山者はなく、ルート取りを地形図と GPS を見ながら考えることがおもしろかった。
- ・今年は雪が多く、トレースはほぼなく、ラッセルが厳しかったが、スノーシューのおかげで登れた。
- ・体力的にも技術てきにも厳しい山行となった。特に 1650 ㍎～1900 ㍎の痩せ尾根の岩稜地帯は岩と雪の間に隙間ができており苦勞した。
- ・別のルートに単独行の登山者が取付いていることがヘッドライトの明かりで見えた。南東の尾根から登っていた。
- ・また、さらに別ルートから登ってきた山スキーの方に出会ったが、1900 ㍎で出会う北東の尾根から登って来ていた。
- ・雪山は無雪期では登れない色々なルートから登れることが面白い。
- ・冬山の単独行は、冬特有の困難を、すべて自分で判断し、自分の力で対応しなければならないので、厳しいが、充実感がある。

報告者氏名 大川 肇

2022年2月13日

(山頂から見た、登ってきた東尾根。奥には北アルプス)

